

平成 28 年度
まちづくり 専門家派遣
実 績 報 告

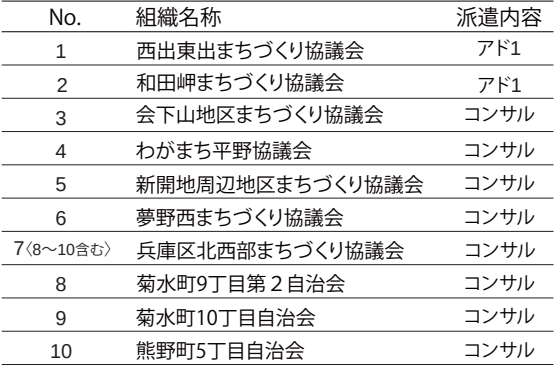
兵庫区

神戸市住宅都市局まち再生推進課
神戸すまいまちづくり公社

目次

兵庫区	派遣 内容		ページ 番号	区域図 No
1 西出東出まちづくり協議会	アド1	...	P.2	(兵庫1)
2 和田岬まちづくり協議会	アド1	...	P.3	(兵庫2)
3 会下山地区まちづくり協議会	コンサル	...	P.4	(兵庫3)
4 わがまち平野協議会	コンサル	...	P.6	(兵庫4)
5 新開地周辺地区まちづくり協議会	コンサル	...	P.8	(兵庫5)
6 夢野西まちづくり協議会	コンサル	...	P.10	(兵庫6)
7 兵庫区北西部まちづくり協議会	コンサル	...	P.12	(兵庫7)
8 菊水町9丁目第2自治会	コンサル	...	P.14	(兵庫8)
9 菊水町10丁目自治会	コンサル	...	P.16	(兵庫9)
10 熊野町5丁目自治会	コンサル	...	P.18	(兵庫10)

 ひょうご
 兵庫区の花バンジー



— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	西出東出 地区		
所在地	神戸市 兵庫区		
世帯数・地区面積	約1,300世帯		約29ha
派遣目的	新まちづくり計画の策定後、その実現に向けて、今年度はまちの安全・安心をテーマに親子の参加を視野に入れたまちの点検を実施し、まちの安全面からまちの環境整備の検討へ移行していけるよう支援する。		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的に記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	○アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	①4/13【役員会】平成27年度事業活動の反省、平成28年度重点事業の検討、総会準備について ②5/24【総会】平成27年度事業報告・決算報告、平成28年度事業計画・予算計画 ③7/3【打合せ】「新・新西出東出まちづくり計画」策定のプロセス(案)について、西出東出まちづくりニュース(総会特集号)の発行について ④7/14【役員会】稲荷市場の最新情報、まちづくり夏休み宿題塾の開催、地域猫対策について、いかり作業所のまち協活動支援に対する対価、高田屋嘉兵衛と淡路顕彰会とのかかわりあい方、ループバスのハーバーランド～イオンモール路線の開設要請、「新・新西出東出まちづくり計画」策定の検討について ⑤9/13【打合せ】「新・新まちづくり計画」策定ワークショップの企画、西出東出まちづくりニュース(アンケート特集号)の発行について、入江防災ニュースの発行について ⑥9/24【ワークショップ】「西出町東出町を考えるためのアンケート調査」の結果報告、今の西出・東出のまちについての意見交換、グループ発表、ワークショップのふりかえりと次回のお知らせ ⑦11/12【打合せ】前回ワークショップのふりかえり、次回のワークショップの企画について ⑧11/26【ワークショップ】前回のふりかえり、まちの将来に向けて自分たちでできることについて意見交換、グループ発表、ワークショップのふりかえりと今後のスケジュール ⑨2/5【打合せ】「新・新まちづくり計画」策定ワークショップのまとめ、まち歩きイベントについて、まち歩きマップ案内板について ⑩2/17【役員会】「新・新まちづくり計画」策定ワークショップのまとめ、まち歩きイベントについて、まち歩きマップ案内板について、まちなか倶楽部への歴史花回道構想推進事業助成金の廃止について
難航した点 有効だった点	＊難航した点 ・特にはないが、あえて言えば、2回のワークショップに若い世代の参加をめざしていたが、思うほど若い人の参加が得られなかった。 ＊有効だった点 ・役員会の前に三役で事前打ち合わせをすることが定着したため、方向性を決めた上で役員会に臨めることになり、議論がスムーズに進行できるようになった。 ・今年度、全世帯アンケート調査を受けて、10年後のまちづくりを考えるワークショップを2回開催することができ、今後のまちづくりの方向性に関する意見交換を行うことができた。		
今後の課題	全世帯アンケートを受けて、10年後のまちづくりを考えるワークショップを開催し、様々な意見を集約することができた。これを受けて、次年度は「新・まちづくり計画」にとりまとめることとなるが、短期・中期・長期と時間軸も想定しながら、以下に具現性の高い計画にとりまとめることができるかが重要となってくる。 また、そのとりまとめのプロセスも含めて、できる限り広く地域住民に周知しながら進められるかもポイントとなってくると思われる。		

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 コー・プラン

記入担当者 吉川 健一郎 (連絡先) (078) 842-2311

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	和田岬 地区		
所在地	神戸市 兵庫区 今出在家町、上庄通、三石通、和田崎町、和田宮通		
世帯数・地区面積	3, 247世帯		245ha
派遣目的	和田岬地区の活性化		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的に記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	29年度	アドバイザー アドバイザーⅡ コンサルタント	○5/12 新役員メンバーの確認、これまでの活動の振り返り、潜水艦のまちづくりへの活用可能性の検討
			○7/5 新役員メンバー顔合わせ（一部）、まちの歴史等の共有、今年度の方向性の検討、確認
			○10/4 新役員メンバー顔合わせ（一部）、空き家、空き店舗、空き施設に関する情報交換（1）
			○2/2 新役員メンバー顔合わせ（一部）、空き家、空き店舗、空き施設に関する情報交換（2）
			○3/30 空き家、空き店舗、空き施設に関する情報交換（3）、活動対象区域のあり方の検討
難航した点 有効だった点	〈難航した点〉新役員の都合により、全役員が同時に集まる機会が少なかったこと 〈有効だった点〉毎回地図（A1サイズ）を囲んで話すことにより、議論が明確になったこと		
今後の課題	・空き家、空き店舗、空き施設のデータの整理と共有 ・空き家、空き店舗、空き施設の活用に向けた、まちづくり協議会の体制づくり ・まちづくり協議会の活動や成果に関する、地域内向けの広報		

※入力フォーム（EXCEL）が必要な方はメールでお知らせください。

アドバイザー・コンサルタント名 有限会社 スタジオ・カタリスト 取締役 松原永季

記入担当者 (連絡先) (078) 220 — 8652

会下山地区まちづくり協議会

位 置	神戸市兵庫区	地区の性格	・兵庫区中央部の丘陵にある見晴らしの良い住宅地。 ・地区内に公園や学校がある。
面 積	約25ha	世 帯 数	約800世帯
設立年月	平成13年 4 月	設立主旨	「陽のあたる 緑ゆたかな 丘のまち」の創造
連 絡 先	建築物の高さの制限、不適当な業種の禁止、深夜営業の制限、ファミリー形式住戸の推奨などは「まちづくり協定」で、生活マナー等は「くらしの住民宣言」でと役割分担させる工夫をしています。		

位置図



これまでの活動の概要

平成8年9月：活動の発端となるマンション紛争が発生
 平成10年6月：第1回まちづくり準備会開催
 平成11年8月：第1回アンケートを実施
 平成12年1～3月：まち歩き、マップづくり
 12月：まちづくりの目標を“陽のあたる 緑ゆたかな 丘のまち”に決定
 平成13年4月：会下山地区まちづくり協議会設立
 10月：「住民意識調査（その2）」を実施
 平成14年10月：地区内の主要な坂に愛称を設定
 平成15年8月：「高取地区ふれあいのまちづくり協議会」と地区の課題についての意見交換会開催
 平成16年2月：まちづくり構想案策定、アンケート実施
 平成18年：住民間の合意形成の取り組み
 平成19年5月：総会で「まちづくり協定（案）」承認
 7月：「会下山地区まちづくり協議会」認定
 11月：「会下山地区まちづくり協定」締結
 平成20年～：まちづくり協定の運用段階。
 平成27年～：まちづくり協定の更新に向けての取り組み開始
 平成28年2月：まちづくり協定の更新についてのアンケート調査実施

建築物の高さ制限区域図



— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	会下山 地区		
所在地	神戸市 兵庫区		
世帯数・地区面積	約800世帯		約25 ha
派遣目的	Ad:まちづくり協議会の運営支援、まちづくり協定の運用 Co:まちづくり協定の更新に向けての諸作業		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	まちづくり協議会月例会でのアドバイス進行支援 協定案件の内容解説、説明（戸建住宅2件） まちづくり協定の更新に関するアンケート調査 その他まちづくり協議会の運営アドバイス
難行した点 有効だった点	【難航】 ・役員の高齢化に伴い、活動を進めていくための人材が不足している。 【有効】 ・協議会が自己資金調達のために積極的にバザーを行った。 ・アンケート調査では、まちづくり協定の更新についての支持が高かった。 ・まちづくり協定の更新作業を機に、協議会と自治会との関係が修復しつつある。		
今後の課題	・協定の更新と同時に執行体制の強化も行う必要がある。 ・まちづくり協議会、まちづくり協定の存在・異議・役割・効果・限界等についての住民への周知措置の継続していく。 ・地域のシンボルである、会下山公園の活性化に対する取り組みを強化する。		

アドバイザー・コンサルタント名 (株) 環境緑地設計研究所

記入担当者 辻 (連絡先) (078) 392 - 1701

平野ふれあいのまちづくり協議会

位 置	神戸市兵庫区	地区の性格	兵庫区山麓部に広がる閑静な住宅地
面 積	約56.7ha	世 帯 数	約4,300世帯
設立年月	H3.3.1	設 立 主 旨	すべての人が快適な生活を送れるまちづくりをめざして
連絡先	アピールしたいことを一言！ 子どもから高齢者まで、まちに誇りと愛着をもてるような「わがまち平野」づくりに取り組んでいきます。		

区域図



活動の様子



統合後の新しい小学校の名前にもついた、地域のシンボルである「祇園神社」。地域を見守ってくれている。

これまでの活動の概要

- 2012年度
神戸山手大学の協力を得て、地域への愛着など住民意識調査を実施
- 2013年度
2013. 夏 まちあるき景観調査の実施
2013. 10. 29 「平野のまちについて考える会」開催
(12. 12 : 第2回、02. 26 : 第3回)
2013. 03 ニュースの発行
- 2014年度
2014. 07. 07 「平野のまちについて考える勉強会」開催
(09. 07 : 第2回、10. 23 : 第3回、12. 07 : 第4回、03. 02 : 第5回)
2014. 12~2015. 01 小学校統合後の跡地活用についてのアンケート調査の実施
- 2015年度
2015. 08. 01 「まちづくり協議会設立準備委員会」開催
(02. 06 : 第2回、03. 12 : 第3回)
- 2016年度
2016. 04. 16 「第4回まちづくり協議会設立準備委員会」開催
(設立総会開催に向けての最終確認)
2016. 06. 25 「わがまち平野協議会」設立総会の開催
2016. 08 「専門部会」設置に関するアンケート実施
2016. 12. 10 「専門部会」の立ち上げ
2017. 春 「わがまち平野かわらばん」発行(予定)



2016. 06. 25に「わがまち平野協議会」設立総会が開催され、活動を開始した。



「魅力部会」「活用部会」「安全・安心部会」の3つの部会を立ち上げ、本格的な検討が始まった。

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	平野 地区		
所在地	神戸市兵庫区		
世帯数・地区面積	約4,300世帯		約56.7ha
派遣目的	平野地区の地域の課題解決や魅力発信のために、地域全体として話し合いのできる組織（まちづくり協議会）の設立と活動推進に向けて、専門的・技術的な支援を行う。		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ ○コンサルタント	1. 「わがまち平野協議会」の設立 平野地区の課題を解決するとともに、良さをさらにのばしていくための取組を実践する場として、まちづくり条例に基づく「わがまち平野協議会」を2016年6月に設立 2. まちづくり協議会設立準備委員会の開催 協議会の設立に向けて、まちづくりのテーマや体制づくりについて検討。 3. 専門部会の立ち上げ まちづくりのテーマとして、「まちの魅力の継承・発信」、「まちの資源の活用」、「まちの安全・安心の確保」を掲げ、その実現に向けた推進体制として、「魅力部会」「活用部会」「安全・安心部会」を設置を確立 4. 活動の広報 協議会の活動を広報する手段として「わがまち平野かわらばん」を発行することし、その創刊号の原稿を作成
難行した点 有効だった点	難航した点 旧平野小学校に関する市教育委員会の方針表明が、当初の一昨年秋の予定から昨年の春、さらには今年3月まで再々延期されたこともあり、協議会の実行部隊としての「専門部会」の立ち上げや活動に影響が生じた。 有効だった点 地域の各団体の代表の協力と理解を得ることができ、協議会の設立および専門部会の立ち上げができた。		
今後の課題	今後は、各部会における検討を中心にして、まちの課題や魅力、あるべき方向等を洗い出し、その成果を「わがまち平野構想」としてまとめるとともに、具体的な「わがまち平野」づくりに向けた取組をすすめる必要がある。		

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社コー・プラン

記入担当者 上山 卓 （連絡先）（078）842-2311

新開地周辺地区まちづくり協議会

位 置	神戸市兵庫区	地区性格	商業・文化・都市型住宅が融合する新・下町文化拠点
面 積	約25ha	世帯数	約4400世帯
設立年月	昭和59年10月	設 立 主 旨	環境改善と商店街の活性化をめざしたまちづくりの推進
連絡先	アピールしたいことを一言！ まちづくり開始から41年、構想も第6弾に入ります。まるでレコードのB面の曲のように、心にしみる魅力を放つ、身近で気軽に愛されるまち「B面の神戸・新開地」をめざしています。		

区域図



活動の様子



リーディング事業として商店街をモール化しシンボルゲート・ビッグマンを整備、新開地音楽祭の会場にもなっている。

これまでの活動の概要

- 1905年 旧湊川埋立地の土手開削
- 1907年 相生座オープン
- 1912年 聚楽館オープン
- 1945年 終戦、米軍キャンプ駐留
- 1957年 市役所三宮移転
- 1960年 映画産業最盛期
- 1961年 神戸新聞社三宮移転
- 1968年 神戸高速鉄道開通
- 1976年 松竹座閉館
- 1978年 聚楽館閉館
- 1983年 新開地周辺地区まちづくり協議会設立
- 1985年 まちづくり構想1
コーポラティブハウス神戸・1、新開地モール
- 1991年 まちづくり構想2、アートビレッジ構想
建築デザイン誘導制度、アートビレッジ事業
本通り沿いに複合施設の立地が着々と進む。
- 1995年 阪神淡路大震災
まちづくりの積み重ねが早期の震災復興につながる。
神戸アートビレッジセンター、ルミエール神戸(新開地劇場)
- 1997年 まちづくり構想3、まちづくりNPO設立
新開地ミュージックストリート等
灯かりのいえなみ、まちなみデザイン誘導制度へ
新開地西国街道ビル、リオ神戸(市街地再開発事業)
ポートピア神戸新開地、フレール3丁目、神戸・3、神戸・4
スカイゲート、灯りのいえなみ、チャレンジショップ(キネマ横丁)
まちかどガーデニング事業開始、旧西国街道修景
新開地音楽祭、神戸ジャズヴォーカルクィーンコンテスト開始
新開地映画祭、ラウンドワン、新開地2丁目アーケード建替え
- 2005年 新開地生誕100周年 まちづくり構想4
新開地ファンづくり事業開始
B面の神戸・新開地、新開地まちづくりNPO
- 2008年 湊川公園改修工事着手
- 2010年 湊川公園改修工事完成
新開地モールLED照明敷設
- 2011年 まちづくり構想5、アート縁日
- 2012年 聚楽横丁美装化工事完了
- 2013年 キッズO.Oガーデン、空地・空建物調査開始
- 2015年 新開地生誕110周年
- 2016年 新開地2丁目リノベPJ、新開地マルシェ開始
- 2017年 新開地5丁目リノベPJ、仮称神戸新開地演芸場4者合意、構想6



新開地商店街の5丁目地区内でマルシェを実施、同じ地区内で空き店舗事業を実施、エリアマネジメントに取り組む。



新開地2丁目地区内では空き建物活用モデル事業を事業化、また空地を活かして演芸場の誘致に取り組む。

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	新開地周辺地区		
所在地	神戸市神戸市兵庫区新開地1～6丁目、湊町1～4丁目、中道通1丁目の一部水木通1丁目の一部、中央区相生町5丁目の一部		
世帯数・地区面積	約4,400世帯		約25ha
派遣目的	新開地周辺地区において、まちづくり構想5に基づく「今ある新開地らしい魅力に、新たな魅力を加え、魅力的でソフトに活かせる都市環境を創り出す」ため、対象団体が行う空き建物・未利用地の利活用促進への取り組みに対して、専門的・技術的な支援を行う。		
本年度の 活動内容及び成果 ・いつ・何が・どう なっ たのか具体的にご記 入 ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	アドバイザー コンサルタント	本業務は、第3期モデル地区における空き建物の利活用の具体策の検討ならびに具体化を目的とする。第3期モデル地区は、平成25年度の調査データとその後に発生した空き店舗を対象に候補先を検討した結果、2ヶ所にしぼって事業化の提案と協議を実施、新開地5丁目2番地内の岡尾氏所有の空き店舗において事業化の了承を得て先行して出店者の募集を実施するとともに、テナントの誘致ができない場合は完成後に新開地まちづくりNPOが使用貸借し、付近で開催されているマルシェや神戸アートビレージセンターと協力してチャレンジショップなどの活用を行う企画を立案、神戸市の地域商業活性化支援事業（3年型）を適用し、2月に着工、3月にB工事を完了した。また、新開地2丁目の空き地を活用しての落語定席の設置の検討については、事業説明会の開催などを経て上方落語協会が推進を決議、兵庫県、神戸市、新開地まちづくりNPOと4者による基本合意を行い、県調査において基本設計の実施、国庫補助の導入にむけて調査が実施された。本コンサルタント派遣では土地所有者ならびに新開地まちづくりNPO、上方落語協会との調整に関する専門的な助言、調整を実施した。
難航した点 有効だった点	新開地2丁目の第2期モデルは完成し、これまで新開地になかった女性を対象とした自然派ネイルサロンの誘致ができ順調に営業できており継続的に出店問い合わせもあるが、区画を埋めるまでに至らない。新開地の人口は10年間で2割増加しており、本通りから離れた場所では若年世帯に対応した店舗が増加しているが、新開地本通りでは潜在需要に対応できていない。モデル3においても厳しい状況を予想して、マルシャなどのイベントを活用しながらチャレンジショップ的に出店者誘致をはかれる事業の組み立てとした。 新開地2丁目の空き地を活用した落語定席の誘致は、行政の支援方針が後押しし、上方落語協会内部での合意形成は臨時総会の採決まで持ち越されたが推進を議決したことから4者による協定締結に至った。ただし、国庫補助の導入を前提としており、平成28年度には需要調査が実施された。		
今後の課題	神戸市商業課の地域商店街活性化支援事業は今年度で3箇年を完了した。空き店舗対策を自律的に軌道にのせるためには、新開地におけるマーケットの変化を店づくりにつなげる地道な取り組みが必要であり、新開地5丁目で行っているマルシェやチャレンジショップで出店できる機会をつくるとともに、増加している若年世帯の居住者に対して商店街の魅力をブログ等で発信するといった取り組みを展開すべく今年度に構想6をとりまとめた。また、仮称）神戸新開地演芸場について、平成28年度は国庫補助の採択、新開地まちづくりNPOによる運営体制固めが当面の課題である。		

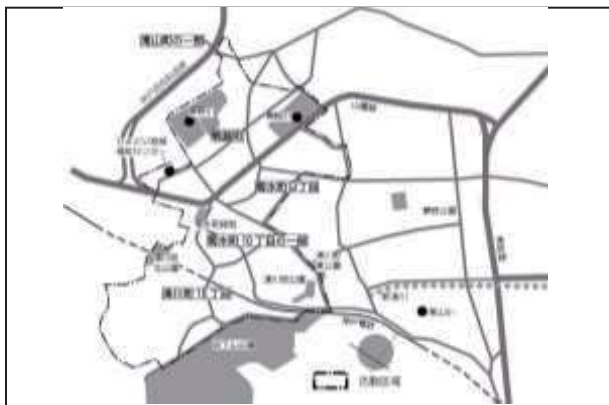
アドバイザー・コンサルタント名 まちづくり&コーディネート研究所 山本英夫

記入担当者 山本英夫 (連絡先) (090) 3865-8810

夢野西まちづくり協議会

位 置	神戸市兵庫区	地区の性格	山麓部の密集市街地
面 積	約20ha	世 帯 数	約1,300世帯
設立年月	平成15年4月	設 立 主 旨	大倉山線整備を含む安全・安心・快適なまちづくりの実現
連絡先	アピールしたいことを一言！ まちづくり構想を神戸市へ提案した後、地域で取り組める身近な課題にこつこつと取り組みを続けています。		

区域図



活動の様子



都市計画道路（東山菊水線）の事業認可がなされ、まちの安全性、快適性の向上に期待しています。

まちづくり構想《第2次》骨子

まちづくりの目標

※これまでと同じ目標を掲げ、まちづくりを一歩ずつ、すすめます。

住み続けられるまち 住みたいなるまち 夢野西

- ・高齢者・障害者・子育て世代など、誰もが安心して暮らせる安全・安心で住み続けられるまちを創出します。
- ・まちの魅力を高め、創造し、誰もが住みたいと感じる魅力あるまちになることを目指します。

まちづくりの基本方針

※具体的な取り組み成果を積み上げてきた3つの倶楽部（テーマ）で、引き続きまちづくりに取り組んでいきます。

※10年経過によるまちの変化を踏まえ、具体的な取り組みなどを柔軟に見直しながら進めていきます。

道 倶楽部

目標：
総合的な安全・安心
まちづくりの推進

取組：

- ・東山菊水線の整備並
歩にあわせた地域全
体の安全・安心まち
づくり
- ・空き地、空き家対策

魅力づくり 倶楽部

目標：
地域の美緑花
（魅力化）

取組：

- ・花のあるまち
- ・1自治会1自衛ス
ポットづくり

歳時記 倶楽部

目標：
世代間の多様な交流

取組：

- ・新たな交流行事の企
画、実施
- ・自治会間のコミュニ
ケーションの充実

全体・共通

・新しい人材や若い人材がやりがいを感じ、参加したくなるまちづくり



まちづくり構想（第2次）をまとめ、臨時総会で承認、神戸市へ報告しました。



4カ所目のまちなか防災空地がオープンしました。新たな人材がまちづくりに参加するきっかけにもなりました。

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	夢野西 地区		
所在地	神戸市兵庫区 湊川町10丁目、菊水町9丁目、10丁目、鶴越町、滝山町の一部		
世帯数・地区面積	1,300世帯		約20ha
派遣目的	まちづくり協議会が多様な意見を協議する場となり、短期的課題だけではなくまち全体の長期的視点からのまちづくりを検討するために、その活動支援を行う。		
27年度の 活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなっ たのか具体的にご記入 ください		種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	まちづくり協議会設立から13年目となり、一昨年度から取り組んできたまちづくり構想（第2次）をとりまとめることができた。 これまでの取り組みに重ねて、地域の各種団体との連携を強め、次の10年を担う人材に活躍してもらえ る取り組みを充実させることを柱としている。
難航した点 有効だった点	具体的な取り組みだけでなく、まちづくり構想（第2次）の柱についても意見交換を行うことが必要であり、会合の中でたくさんの議題を消化しなければならなかった。 今後の10年という視点から、次世代の参加をどう促すか、自分たちが積み上げてきたものをどう渡していくか、構想策定後の具体的活動の展開が課題である。		
今後の課題	これまでの活動の節目を迎え、支えてきた人材の高齢化も顕著である。次世代への引き渡しを念頭に活動の持続・継続が課題である。		

※入力フォーム（EXCEL）が必要な方はメールでお知らせください。

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 山内徹郎都市計画研究室

記入担当者 山内 徹郎

（連絡先）（078）262-1343

兵庫区北西部まちづくり協議会

位 置	神戸市兵庫区	地区の性格	山麓部の密集市街地
面 積	約60ha	世 帯 数	約9,300世帯
設立年月	平成19年2月	設 立 主 旨	4小学校統合後の地域間交流
アピールしたいことを一言！ 設立から10年経過。都市計画道路の計画変更、密集市街地の改善事業、公園の整備など、着実に取り組み成果を積み重ねています。			

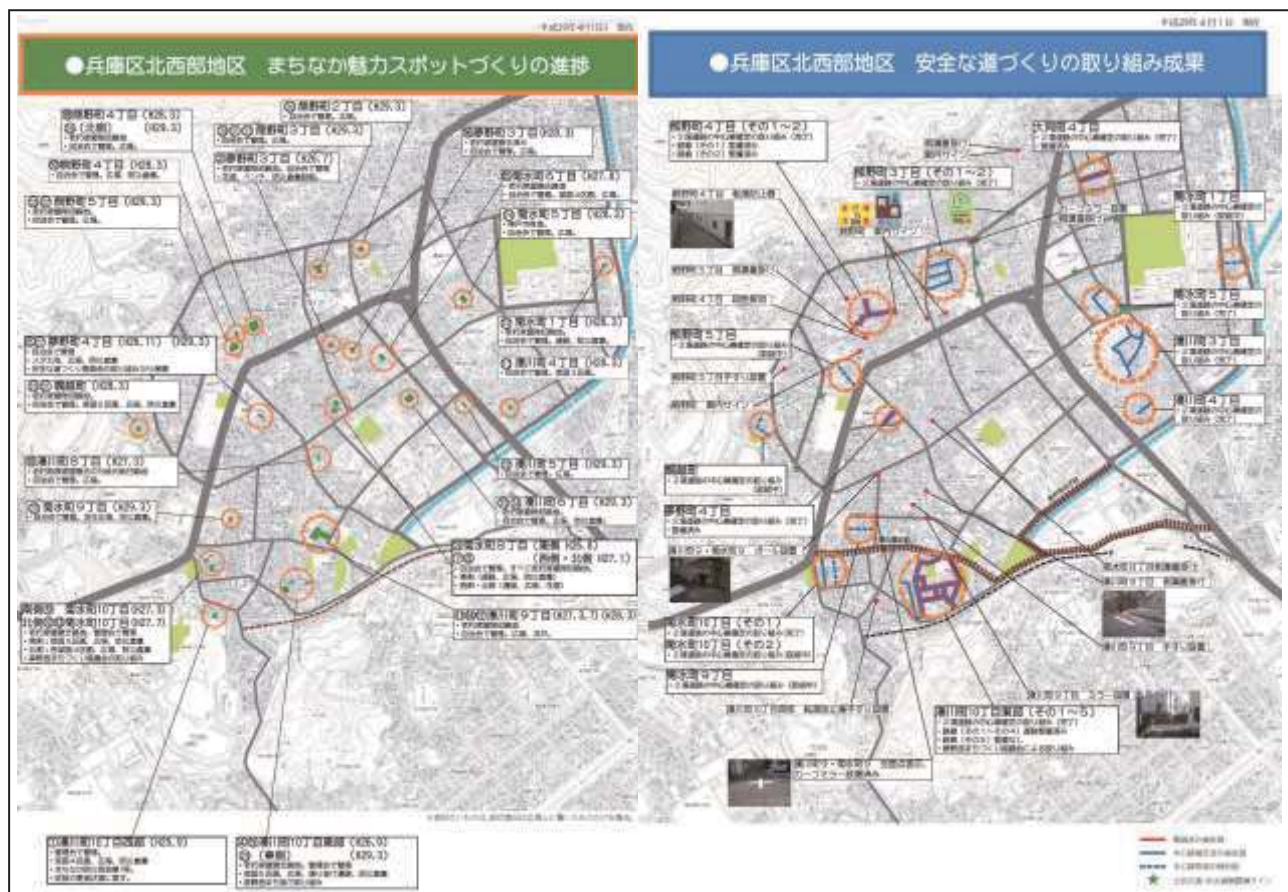
区域図



活動の様子



毎月1回の理事会、部会を開催して、検討をすすめています。



— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

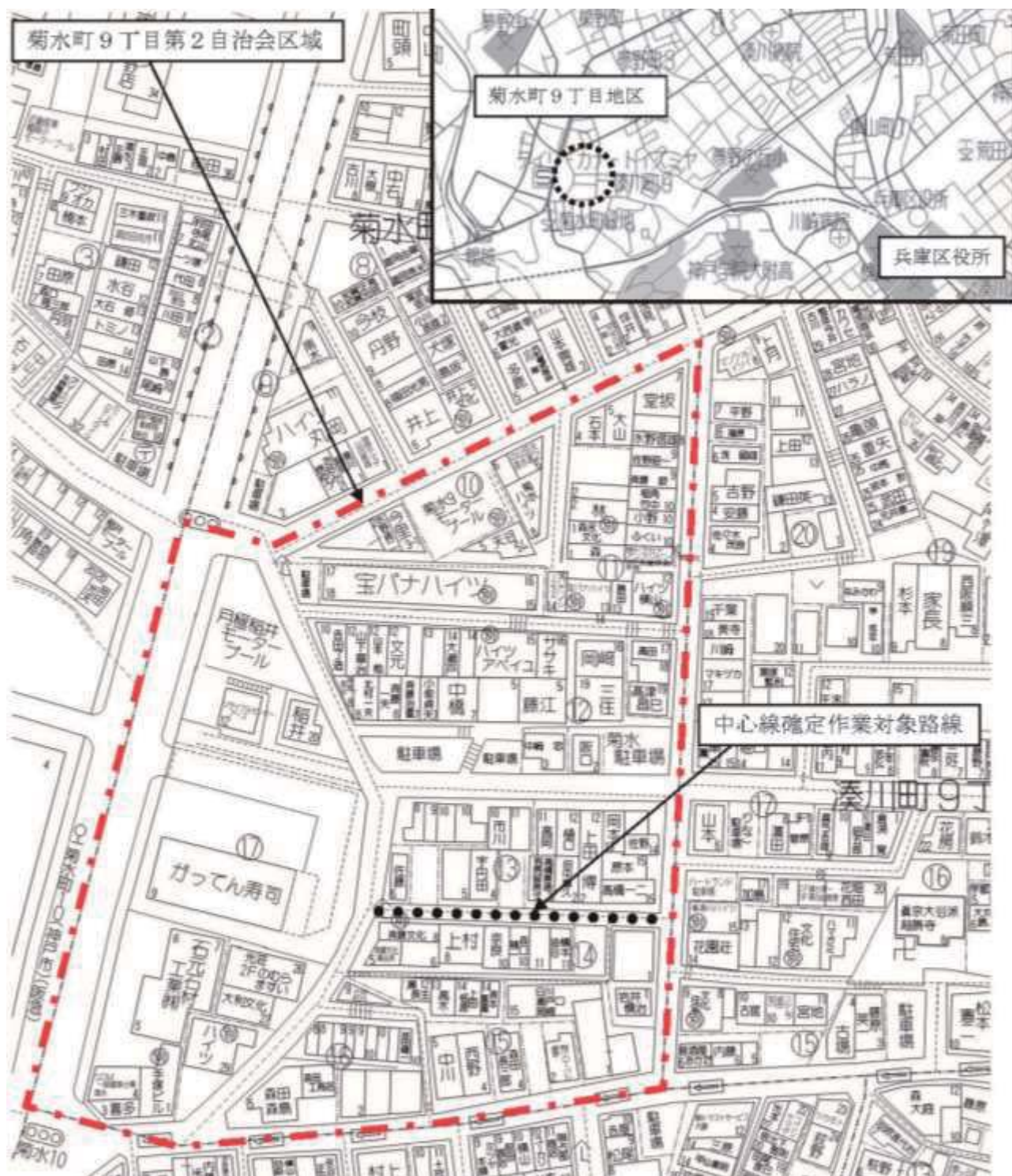
派遣地区名	兵庫区北西部地区		
所在地	神戸市兵庫区 湊川町、菊水町、鶴越町、熊野町、氷室町、滝山町の一部		
世帯数・地区面積	約9,000世帯		約60ha
派遣目的	4つの小学校が統合した地区であり、地域間の交流と共通する地域課題の解決へ向けて、既存組織の垣根を越えた有機的な地域連携をすすめる。		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	地域の課題をテーマに整理した「安全・安心部会」「魅力づくり部会」ごとに月1回の会合での意見交換を重ねた。 都市計画道路東山菊水線の一部沿道区間の権利者を対象に個別ヒアリングが実施され、沿道まちづくりの検討もスタートした。夢野雪御所線の整備が完了し通り初めを行った。 密集改善優先地区として、細街路整備事業、身近な環境改善事業、まちなか防災整備事業の取り組みを進め、まちなか防災空地は、37カ所まで増えた。
難行した点 有効だった点	地域の要職を兼務する役員が多く、活動の活発化にともない、地域の方の負担が増大してきている。 まちなか防災空地、身近な生活道路の改善は、取り組み成果が徐々に地域全体へと伝搬して行っている状況で、取り組み箇所だけでなく、検討箇所も増えている。目に見える形で成果が積み上がっていることが有効に作用している。 防災福祉コミュニティの取り組みと連携し、土砂災害時避難誘導サインの設置を行った。		
今後の課題	密集市街地改善の取り組みを一層積み重ね、単に空地化するのではなく新しい地域の魅力スポットとして、PRおよび活用もあわせて検討していくとともに、老朽空き家の撤去だけでなく、空き家の有効活用を模索する。 結成から10年を経過し、これまでの取り組み成果を記録誌としてとりまとめる。		

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 山内徹郎都市計画研究室

記入担当者 山内徹郎 (連絡先) (078) 262 — 1343

菊水町9丁目第2自治会

位 置	神戸市兵庫区	地区の性格	山麓部の住宅密集市街地（優先地区：兵庫北部）
面 積	約1.5ha	世 帯 数	279世帯
設立年月		設 立 主 旨	
連絡先		アピールしたいことを一言！	



— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇道路整備型まちづくり計画

派遣地区名	菊水町9丁目 地区 （法定容積率 200%）				
所在地	神戸市 兵庫区				
権利者数・道路概要等	権利者数	17名	延長 約57m × 幅員約3m（私道）		
	土地所有者 建物所有者 賃借人	6名 15名 一名	戸数	14戸	うち既存 再建済 空地
中心線合意・道路整備	道路中心線合意形成 済		着工 30年 4月予定 （未確定の場合は予定を書いてください。）		
派遣目的	建築基準法に基づく道路中心線を関係権利者で確認・確定すること。				
本年度の派遣実績並びに成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	成果		
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ <u>コンサルタント</u>	2項道路の中心線確定済み		
難行した点 有効だった点	まちなか防災空地の検討と同時に進めたため、防災性向上の効果を理解してもらいやすく、スムーズに関係権利者および自治会の理解と協力を得ることができたので、立会から確認・押印までの作業は円滑にすすめることができた。				
今後の課題	引き続き、整備課題を整理しながら細街路整備事業による道路整備を進めていくことが必要である。				

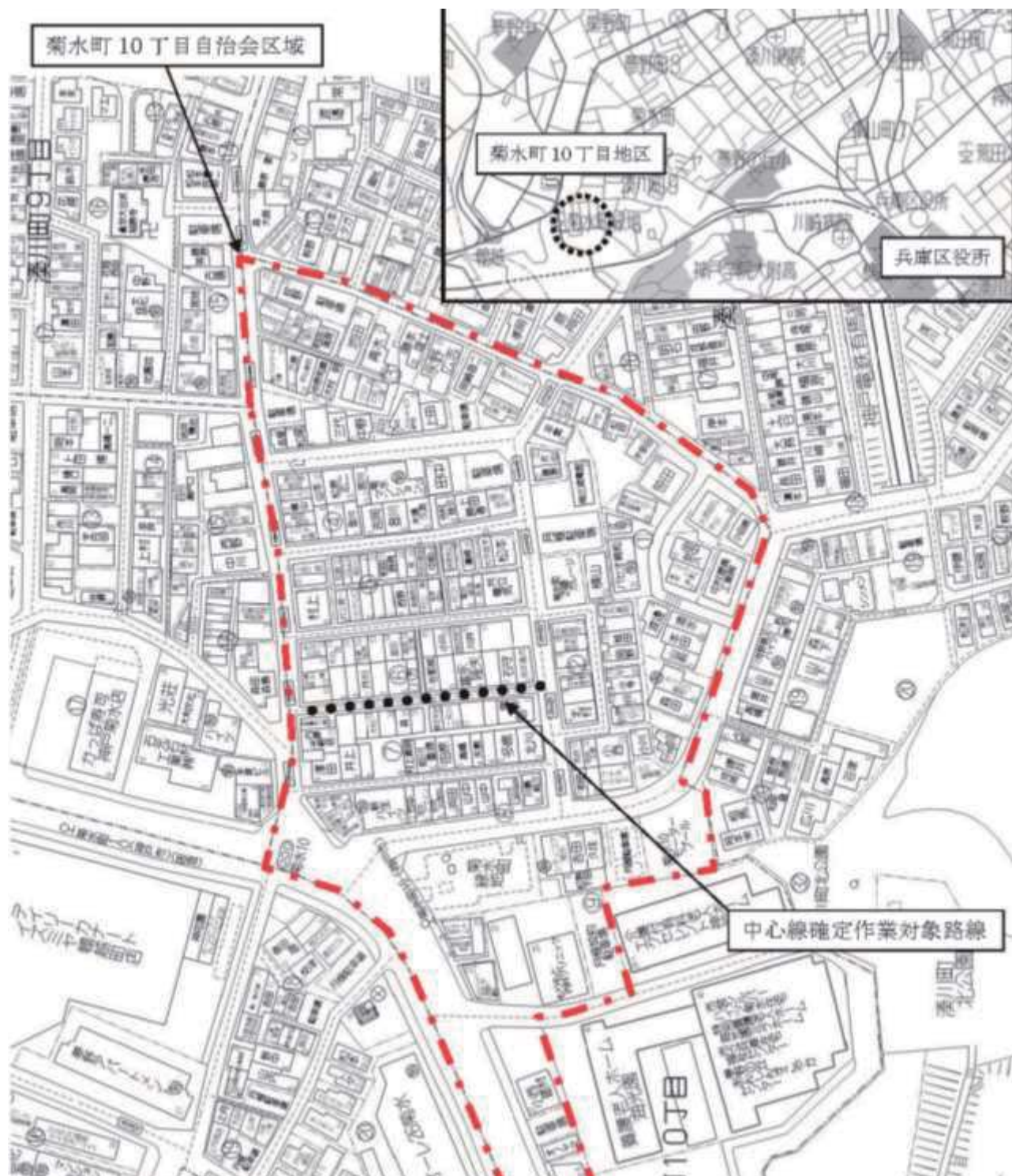
アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 山内徹郎都市計画研究室

記入担当者 山内 徹郎

（連絡先）（078）262-1343

菊水町10丁目自治会

位 置	神戸市兵庫区	地区の性格	山麓部の住宅密集市街地（優先地区：兵庫北部）
面 積	約2.3ha	世 帯 数	180世帯
設立年月		設 立 主 旨	
連絡先		アピールしたいことを一言！	



— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇道路整備型まちづくり計画

派遣地区名	菊水町10丁目 地区 （法定容積率 200%）				
所在地	神戸市 兵庫区				
権利者数・道路概要等	権利者数	17名	延長 約65m × 幅員約3m（私道）		
	土地所有者 建物所有者 賃借人	1名 16名 一名	戸数	25戸	うち既存 再建済 空地 24戸 1戸 1戸
中心線合意・道路整備	道路中心線合意形成 済		着工 30年 4月予定 （未確定の場合は予定を書いてください。）		
派遣目的	建築基準法に基づく道路中心線を関係権利者で確認・確定すること。				
本年度の派遣実績並びに成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	成果		
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ <u>コンサルタント</u>	2項道路の中心線確定済み		
難行した点 有効だった点	自治会区域内で2本目の路線であったため、スムーズに関係権利者および自治会の理解と協力を得ることができたので、立会から確認・押印までの作業は円滑にすすめることができた。				
今後の課題	引き続き、整備課題を整理しながら細街路整備事業による道路整備を進めていくことが必要である。				

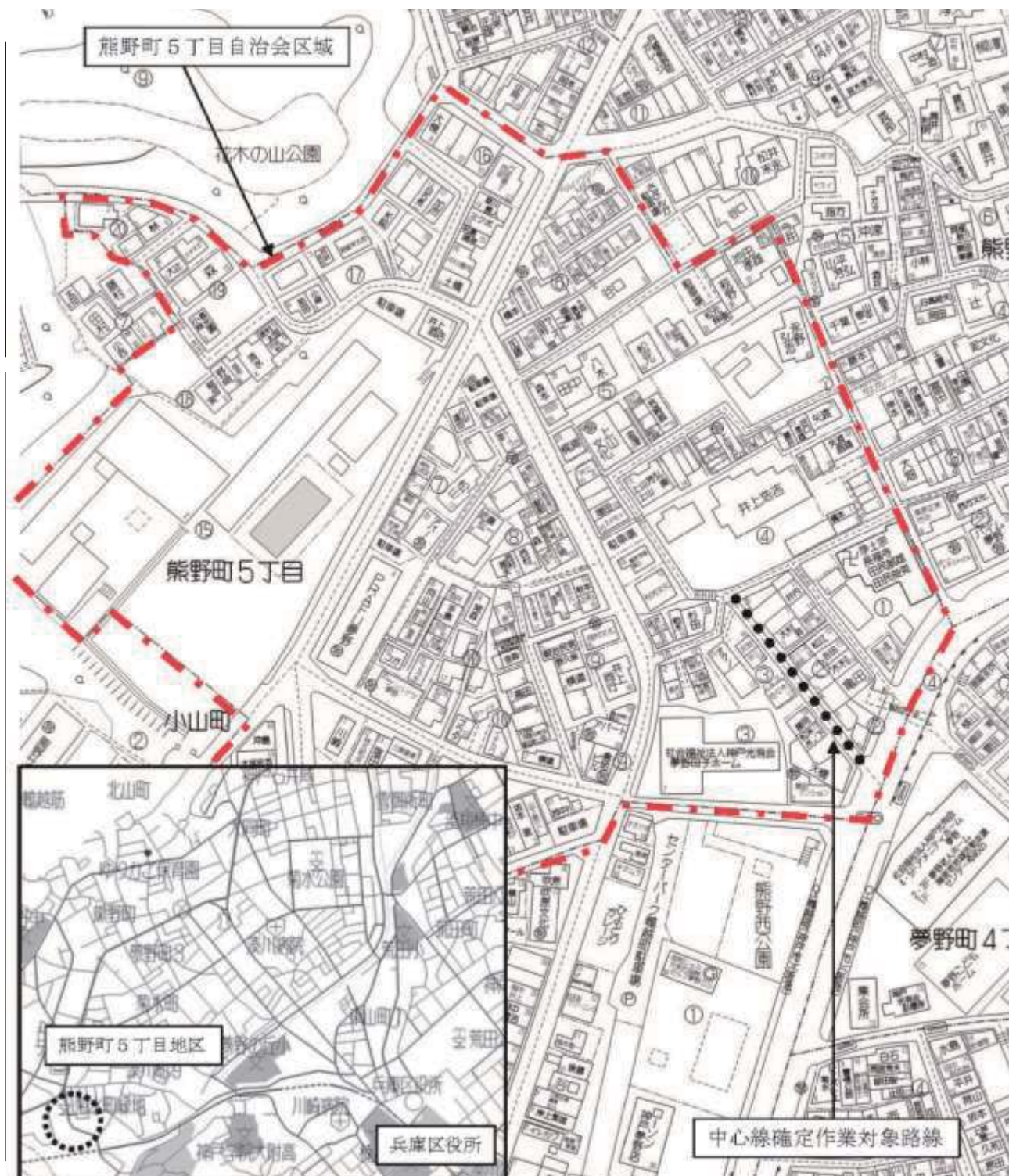
アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 山内徹郎都市計画研究室

記入担当者 山内 徹郎

(連絡先) (078) 262-1343

熊野町5丁目自治会

位 置	神戸市兵庫区	地区の性格	山麓部の住宅密集市街地（優先地区：兵庫北部）
面 積	約4.6ha	世 帯 数	302世帯
設立年月		設 立 主 旨	
連絡先		アピールしたいことを一言！	



— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇道路整備型まちづくり計画

派遣地区名	熊野町5丁目 地区 （法定容積率 200%）				
所在地	神戸市 兵庫区				
権利者数・道路概要等	権利者数	12名	延長 約60m × 幅員約3m（私道）		
	土地所有者 建物所有者 賃借人	12名 12名 一名	戸数	14戸	うち既存 再建済 空地 10戸 4戸 6戸
中心線合意・道路整備	道路中心線合意形成 済		着工 30年 4月予定 （未確定の場合は予定を書いてください。）		
派遣目的	建築基準法に基づく道路中心線を関係権利者で確認・確定すること。				
本年度の派遣実績並びに成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	成果		
	27年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ <u>コンサルタント</u>	2項道路の中心線確定済み		
難行した点 有効だった点	震災後に私道舗装助成を活用して舗装を補修されていたが、埋設管の位置で凹凸が発生し歩きにくい状態になっていた。ほとんどの方の合意形成は早かったが、私道の通行について誤解されている方もあり、測量着手までに時間を要した。測量後はスムーズに手続き等は進んだ。				
今後の課題	引き続き、整備課題を整理しながら細街路整備事業による道路整備を進めていくことが必要である。				

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 山内徹郎都市計画研究室

記入担当者 山内 徹郎

(連絡先) (078) 262-1343